

全日課程の卒業生から、 受験を考えている方への メッセージ

～令和6年3月に卒業した第77期生より～

1. 私が全日課程を受験しようと思った理由

- ◆ 児童虐待に関するニュースを見て、子どもたちを助ける立場になりたいと思ったからです。
- ◆ 専門的な『子ども家庭福祉』等の知識を、学費が無料かつ1年間で身につけられるからです。
- ◆ たくさんの実習を通して経験を積み、自信を持って児童福祉司になりたかったからです。
- ◆ 『子ども家庭福祉』の知識があまり無い状態で、児童養護施設で勤務していましたが、子どもとの適切な関わり方や、発達障害・愛着障害等について、しっかり学びたいと思ったからです。
- ◆ 実力をつけて、少しでも早く現場で働きたかったからです。

2. 私が体験した全日課程の日々の生活

- ◆ これまで寮で生活したことが無くても、楽しく過ごせます。講義やレポート、卒業論文など忙しい時期もありますが、その分、達成感や満足感がすごいです。
- ◆ とにかく『毎日が思い出』です。学生生活の延長線みたいで、すごく青春でした。自分で解決するかも、誰かに頼るかも、どちらも身につけることができます。
- ◆ 同期生と過ごす時間が、ただただ楽しいです。一緒にいることが多いですが、自室などで1人で過ごすこともできます。休みもあり、工夫すれば、友達と遊ぶことや帰省もできます。
- ◆ 同期生との生活や、入所している子どもと一緒に過ごす時間は、とても楽しくて、毎日元気をもらえます。

3. 私が体験した就職活動

- ◆ 受験説明会で説明のあった「全日課程卒業後の就職率は、ほぼ100%」は本当でした。第77期生も全員希望する就職先が見つかりました。
- ◆ 児童相談所で働くためには、就職を希望する自治体の『福祉職』や『児童福祉司』といった公務員試験に合格する必要があります。全日課程では、公務員試験を受験する以前の4月～5月に、公務員試験に直結する講義がたくさんあり、とても助かりました。
- ◆ 児童相談所での勤務を希望していましたが、全日課程の福祉事務所実習を通じて、生活保護や高齢者福祉のケースワークにも興味を持ったので、いろいろな福祉に携わることができるよう『福祉職』で就職することにしました。
- ◆ 児童自立支援施設での勤務を希望し、全日課程で資格を得られる『児童自立支援専門員』の公務員試験を受け、すんなりと就職先が決まりました。
- ◆ 全日課程では、就職に向けた様々な情報や助言をもらえたり、悩んだ時に相談に乗ってもらえるので、自分に最適な就職先を選択することができました。
- ◆ 全日課程での学びは、就職試験の面接で大きなアピールポイントになりました。

4. 私が全日課程の卒業にあたって思うこと

- ◆ 本当に『充実した濃い1年間』だったと感じています。入所している子どもたち、先生方、同期生と出会えたことは、私にとって大切な思い出であり、宝物です。
- ◆ 全日課程の入所前よりも、人と関わることがもっと楽しくなりました。福祉の専門的な部分だけでなく、コミュニケーションについても考えられるようになりました。想像していた以上に、全日課程の生活にハマっていました。
- ◆ 1年間はあっという間でした。武蔵野学院の先生方を見てみると「なぜそんな風に考えられるのだろうか？自分も、ぜひそうになりたい！」と憧れることばかりで、そのような環境の中で1年間学べたことに、とても感謝しています。
- ◆ 知識や経験を得ただけでなく、自分自身を見つめ直す貴重な機会になりました。全日課程に入所して、大正解だったと思っています。
- ◆ とにかく自分の考えを深めることができた1年間でした。
- ◆ 良い人たちに巡り会えて、全日課程に入所して良かったです。

5. 私から受験を考えている方へのメッセージ

- ◆ 受験説明会では、職員の方の説明を聞くだけでなく、現役の全日課程の学生と直接話ができる時間が設けられています。HPに掲載されている以外の情報に触れることができるので、自分の進路を決断する上で、少しでも興味のある方は、まずは受験説明会に参加することをお勧めします。
- ◆ 大学を卒業してすぐに全日課程に入所しました。同級生が社会人になって働いている中、1年間勉強するという選択が正しいのか不安でしたが、ここでの1年間を終えて、「ここに来てよかった！やはり『来る』の選択肢しかなかったな。」と思うことができました。受験を迷っているのであれば、絶対に『全日課程で頑張る1年間』をお勧めします。全日課程を知ることができたことを縁だと思って、足を踏み入れてみてください。
- ◆ 『こども家庭福祉』、『児童自立支援施設』について知らなくても、全然大丈夫です。私は「子どものために何かしたい！」という漠然とした気持ちで受験しましたが、今でも、その気持ちを大切に思っています。少しでも興味や気持ちがあるなら、受験することをお勧めします。

- ◆ 『こども家庭福祉』に興味がある人は、とても充実した1年間になると思います。でも、これまで福祉を学んでいなくても大丈夫です。むしろ、福祉とは別の視点が武器になることがあります。
- ◆ 全日課程の学習や生活に不安もありましたが、福祉に携わったことが無い私でも、後悔しないように、全日課程を受験しました。今では、その挑戦を誇りに思っています。
- ◆ 全日課程の講義は、どんなに眠たくても絶対に聞いた方が良いです。簡単にはお会いできないような講師の方々ばかりです。お金には代えられない出会いがあります。
- ◆ 全日課程の毎日が学びであり、自分自身と向き合うことの大切さに気付かされました。この1年間で得た学び、疑問、思い出は、今後に絶対に活きると思います。
- ◆ 武蔵野学院の食事（入所している子どもと同じ給食を提供してもらえます）は、栄養バランスも良く、種類も豊富で、本当に美味しいです。
- ◆ 全日課程では、卒業論文があり、様々なレポートを書きます。今のうちから、子ども関連のニュースにアンテナを張っておくと、全日課程の学習や生活をより充実させることができます。